

第18回 北海道地方・日本のおもな都市 基本問題

- 1 北海道は、江戸時代まで()とよばれていて、()の人たちが狩猟中心の生活をしていました。
- 2 1869年に北海道となり、札幌に()がおかれ、札幌農学校では()がまねかれました。
- 3 ()川下流の稲作がさかんな()平野では、泥炭地に()をして、土地の改良をしました。
- 4 十勝平野では、さとうの原料となる()の栽培がさかんで、()市には大きな製糖工場があります。
- 5 十勝平野では土地がやせているため、同じ作物を同じ畑で続けて作ると()が起こるので、それをふせぐために()をしています。
- 6 根釧台地には1973年からつくられていった()では、大規模な酪農が行われています。大消費地から遠く離れているためバター・チーズなど()に加工されています。
- 7 サロマ湖では()の養殖が、十勝川では、()の稚魚を育て栽培漁業をしています。太平洋岸ではこんぶの養殖が行われています。
- 8 ()国立公園は、タンチョウが舞う湿原として有名です。湿原をまもるために1980年、()条約が結ばれました。
- 9 北海道には針葉樹が多く、これを利用した()・パルプ工業が苫小牧・()・釧路などでさかんです。
- 10 北海道には六つの国立公園があります。()は世界自然遺産になっています。
- 11 人口が百万人以上の都市は()ありますが、東京以外は()都市になっています。また、都道府県庁所在地でないのは()だけです。
- 12 都市としての東京は()全体をさします。過密化から都市問題が生じ、地価の高騰で都心部の人口が減少し、周辺が増える()化現象を生じました。しかし、1990年代半ばから緩和しています。
- 13 ()は、西日本の中心都市で、()川の河口に位置します。昔は、全国の物産が集まる商業の都市で()と呼ばれました。
- 14 ()干潟は、名古屋港の奥にある干潟で、()条約の登録地です。
- 15 ()川河口の三角州に広がる()は、中国地方第一の都市で府中町とともに()工業がさかんです。
- 16 ()の都とよばれる()は東北三大祭りの一つ七夕が行われます。
- 17 ()は、以前は百万都市でした。北九州工業地帯の中心都市で、明治時代に()製鉄所がつくられました。
- 18 ()は、東京のベッドタウンとなっており、()地域の工業都市の一つで鉄鋼業がさかんです。
- 19 ()は、大阪府第二の都市で、昔から商人の町として栄えて来ました。埋め立て地に石油化学コンビナートがあります。
- 20 ()川河口にある()は、本州の日本海側でただ一つの政令指定都市です。
- 21 ()は静岡県で最も人口の多い都市です。うなぎの養殖で知られた()湖があり、楽器やオートバイの製造で有名でしたが、今は自動車関連の工場が数多く見られます。
- 22 ()は2012年、最も新しい政令指定都市となりました。加藤清正が改築した城を中心発達した都市で、九州新幹線が通っています。
- 23 神奈川県で3番目の政令指定都市である()は、東京や横浜のベッドタウンとなっています。
- 24 ()は()湾から赤石山脈まで南北に広がる都市です。()港からは、浜松などでつくられたオートバイが多く輸出されています。
- 25 ()は広島に次ぐ中国地方第二の都市で、日本三名園の一つ()があります。備前市とともに備前焼の産地です。